

第117回 TAMA市民塾 日曜講座

武蔵野にまつわる文学

平安・鎌倉時代の

和歌・物語・説話を中心に

講師 ^{いのもと まゆみ} 井 真弓 氏

大阪大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得。博士（文学）。清泉女子大学、東京女子大学他の非常勤講師。『源氏物語』をはじめとした中古・中世の物語や和歌を研究。平安装束や年中行事等、古来の先例に基づいた有職故実への造詣も深い。共著『中世王朝物語全集 石清水物語』（笠間書院）などの著作。

内容 「TAMA市民塾」の「TAMA」（多摩）は、古には武蔵国に属し「武蔵野」と呼ばれていた地域です。「武蔵野」と言えば、まず国木田独歩の同名小説を思い浮かべる方が多いでしょうが、実は平安・鎌倉時代の文学作品の中でも重要な題材として描かれています。本講座では、武蔵野にまつわる古典作品を紹介しつつ、和歌で多く歌われている武蔵野の花「紫」をキーワードに、『万葉集』『源氏物語』などに登場する女性たちの姿を辿ってみます。そして、府中や国分寺の伝説に登場する人物「玉造小町（小野小町）」の描かれ方を他の古典作品と比較して違いを読み解き、伝説の生まれた過程をさぐります。

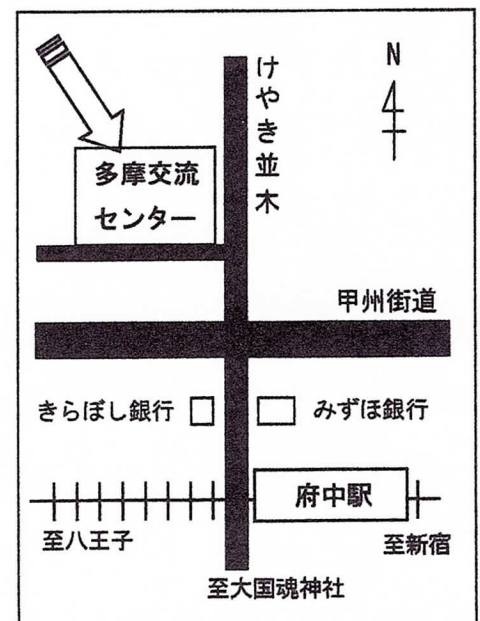
日時 平成31年 4月21日（日） 午後2時～4時

会場 多摩交流センター会議室
府中駅北第2庁舎6階（府中市寿町1-5-1）
（京王線 府中駅北口下車 徒歩5分）

申込 不要です（当日会場にお越し下さい）
先着50名までとさせていただきます

受講料 無料です

問合せ 多摩交流センター内 TAMA市民塾
Tel. 042-335-0111



『TAMA市民塾』の情報

（駐車場はありません。ご注意ください。）

多摩交流センター 検索 → 生涯学習 → TAMA市民塾

